

# 平成25年度社会貢献プロジェクト

## 小学生低学年児童とその保護者向けの「命」をテーマとした教材製作とその普及

代表者：大河内信弘（医学医療系）

分担者：楠本 敏薄（病院総務部総務課） 千原 尉智路（医学群医学類）

平井 理心（病院総務部医事課）

### 概要

「命」について、友達、仲間、親子、教師と児童等でともに話し合い、考えられることを目的とした教材となる絵本を、平成24年度に作成した。そして、平成25年度は、その絵本の普及活動を行った。まず、茨城県内の公共施設等に無料で提供した。さらに、絵本の作者による講演会と原画展を開催するとともに、読書感想文コンクールも開催し、命について共に考えあう機会を多く設けた。また、DVD版を製作し、普及活動を行った。



～内容～

捨てられた子ねこが女の人の家に拾われ、女の人の家で、女の人と犬とともに成長していく。大好きな犬との別れと約束。ケガをした結果、動けなくなってしまった自分。それでも、人とのつながりのなかで、どんな姿、どんな自分でもいと認められ、自分自身のありのままの姿を受け入れる。自分の存在を肯定していく猫の成長とその幸せを描いている。（Amazonから引用）

### 実施内容及び成果

#### ●いのちについて考える絵本の原画展とトークショー（2013年12月1日開催）



トークショーの様子



絵本作者による講演の様子

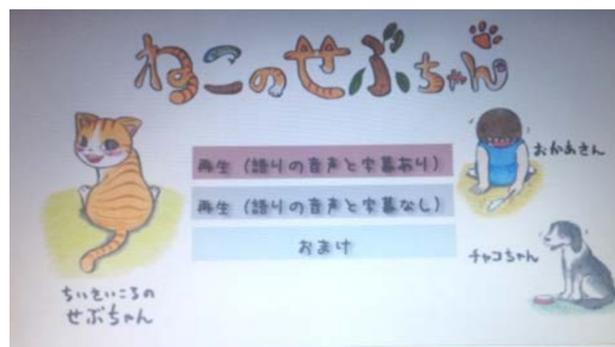
参加者37名。

「いのちのつながりに、共感し、感動し、涙がこぼれました。」「人生は有限。有限の人生のなかでいかに生きるか考えました。」等の感想を得た。

#### ●読書感想文コンクール



#### ●DVDの制作



制作したDVDとコンテンツ

### 地域社会等との連携

イベントの開催およびDVD制作にあたり、「財団法人いばらき腎バンク」と協働した。

<財団法人いばらき腎バンク>（平成26年4月1日より「公益財団法人いばらき腎臓財団」に名称変更）

平成元年（1986）年、腎不全の患者さんからの寄付をきっかけに、腎臓提供希望者のための登録制度を実施する機関として設立。現在、移植推進事業、臓器提供者家族支援事業のほか、茨城県内の学校などに講師を派遣して「いのちの学習会」を開催。その学習会の教材として、筑波大学の学生とともにDVD「話そう大切な人と」を制作。精力的な活動を続けている。

### 今後の展望

引き続き、絵本の普及活動を進めるとともに、DVDの普及もおこなう。それによって、より多くの人々の目に触れることで、いのちについて考える場づくりとなることが期待できる。